

四谷の

千枚田だより



第219号



令和三年を振り返って

一月五日、千枚田入り口作業道災害復旧工事始まる(二月十七日完了)。九日、寒波(五℃)各所で水道管破裂。十九日、環境省里地里山アソシエーション回答。二十五日、終日雪(時雨雪のため積もらず)。二十八日、県環境部ベストプラクティス会議(リモート)。二月一日、県教育振興会第四巻「あいち発見コレ! なぐんだ!!」作成協力、写真提供(七月発行)。十二日、特別教科道徳読本(ピオトープ、モリアオガエル全六ページ)に掲載される。十六日、ヤマアカガエルの産卵が見られた。三月二十二日、鳳来寺小学校校外学習対応(二年生十項目のアンケート回答。四年生啓蒙ポスターの掲示と新学期一年間のお祝い。五年生から感謝の記念品頂く。二十七日、直払い生産活動(沢周辺の環境整備)。二十九日、千枚田に鯉のぼりたなびく(中村家)。三十一日、タゴガエル鳴き始め。四月一日、内閣府地域活性化伝道師登録証(継続)。十六日、指定棚田地域振興活動計画「四谷の千枚田地域振興協議会」発足。十八日、市の鳥「ブツ

ポウソウ」の初鳴き。ゴールデンウィーク中千枚田無茶苦茶賑わう。五月八日、JA愛知東こども農学校の田植え(五十七名)。十二日、コロナ禍愛知県緊急事態宣言(これに伴い六月第一土曜日の「お田植え感謝の夕べ」開催中止を決定。十三日、鳳来寺小学校(十名)&調理師学校(二十七名)の田植え。十七日、メーテレ放送(ドデスカ)。十九日、モリアオガエルの産卵始まる。二十九日、保存会環境整備(草刈り)。六月一日、愛知県ジブリ構想取材協力(九月八日最終、計五回)。二日〜一か月、ケーブルTVティーズ「BMKが行く」(田植え)放送。十日、豊橋調理製菓専門学校田の草取り、梅取り。二十四日、モリアオガエル南天に三個体の産卵を確認。七月一日 NHK あさいチ(シエア旅)全国放送。二日、今年最大の降雨、千枚田細尾側の田んぼがナイアガラの滝のように溢れ出た。三日、「めざせ、あしたのまち・くらしづくり応募(二回落選)」。十日、直払い生産活動(沢沿いの環境整備)。十日、エコネット安城視察対応。十五日、千枚田生活道路に駐

車禁止の看板設置(市役所による)。十八日、千枚田に案山子設置(チームTAKO)。二十二日、名古屋大学江原教授海外研修生受け入れがコロナ禍のため、出国不可、動画配信となる。二十七日、全国棚田(千枚田)サミット、コロナ禍のため中止に決定。二十五日と八月一日、ふれあい広場の「キイロスズメバチ」駆除。八月一日〜九月三十日、絵画コンクール(応募三百七十八名、審査十月十二日)。二十一日、仮設トイレ付近暗渠崩壊。二十二日、デイスカパーむらの宝応募。九月九日、豊橋調理製菓専門学校稲刈り。九日、中日新聞夕刊「いろとりどり」掲載。十五日、鳳来寺小の稲刈り。十八日、読売新聞掲載。十九日、「歴史と継承」(動画出演)名古屋千種会館、内容は十月一日から YouTube で配信。棚田写真展もソニーストア名古屋で同月二十四日まで開催。三十日、NHK おはよう東海、まるっと「棚田の秋」放送。十月六日〜一か月、ケーブルTVティーズ「BMKが行く」(稲刈り)放送。七日、豊橋調理製菓専門学校脱穀。十二日、NHK「棚田の花火」放送。十八日、中部小五年生(三十名)校外学習。同日、農水省ポスト棚田百選写真提供。同日、ハリウッドホラー映画「BASHIRA」キヤスト&クルー向け日米同時上映会行われる(取材協力)。二十四日、

保存会環境整備(草刈り)。二十七日、立命館大学中村君より棚田保全等に関するアンケート回答のお礼として論文届く。二十八日、米出荷(八雲だんご)。二十九日、高知大学藤田さん卒業論文依頼を資料等で協力。十一月三日、相田先生(棚田学会員)土木学会誌寄稿「大代の土石流」の資料・校正の協力。四日、コロナ禍名古屋市ゼロ、収束か?、七日に新城市四名、続いて十日にも四名発症。これを踏まえ「収穫感謝祭」の中止を決定。七日、愛知県広報誌「あいちのトビラ」掲載協力。十九日、「デイスカパーむらの宝」東海農政局個人部門選定。二十四日、市更生保護女性会(幹部十五名)視察対応。



ふるさとウォーキング

十一月十四日、連谷公民館(佐々木一栄館長)は恒例のふるさとウォーキング、グラントゴルフを催した。

参加者四十名は昼食の支度などの役員を残し、颯爽(よぼよぼ)と旧連谷小学校を出発。清崎の道の駅「したら」を目指した。コースは根道―方瀬―与良木と、道中、「この家は誰の家だったからか：ほおホオ：林になっちまって：」等々、昔を振り返りながらマンボウ(與良木隧道)を抜け、清崎の道の駅に到着。不



思議なこと一人のリタイヤもなかった。

道の駅でしばし、休息。誰もが、一度乗ってみたいと思つた豊橋鉄道定期バス。田内から滝上まで、二区間、途中、田峰でツアーの参加者二十余名が乗車、お互いに「座りゃいいですよ：座りゃあいじやん、わしんとうはすぐ降りるだでやあ：」と席を譲り合つた。

バスの運転手さんは「こんねに、乗ってくれたのは十年に一度あるかないかで、パニックしてしまつた」と、ハンドルに汗をかきながら感謝いっぱいであつた。

滝上からの帰路は沿道のゴミ拾いをしたが、ゴミがほとんどなく爽やかであつた。

昼食は役員の支度した豚汁などを頂き、グラントゴルフに競じた。げなげな囃 興良木隧道は明治二十七年に、お化けが出ると云う伊勢神隧道は明治三十年、伊豆の天城山隧道は明治三十三年竣工で、同じ石造工法のトンネルでは興良木隧道が一番古しいし、今でも使われている。

視察

十一月二十四日、新城市更生保護女性会(幹部十五名)が訪れた。

同会は、女性の立場から、地域社会の犯罪非行の未然防止のため啓発運動を行うとともに、青少年の健

全な育成などを目的とする女性の団体で、新城市には百三十名の会員が七ブロックで活動している。

後日、峰野明子さんから「：ただだ庄倒されることばかりで、アツという間の一時間でした。棚田のことでだけでなく、水質、生物、地学などおおくのことを研究され、たいへんエネルギーッシュで私たち会員もたくさんさんのパワーを頂いて帰りました」と礼状が届いた。

なかなかできないこと

千枚田が一望できる身平橋の白山神社は一村(町)一社の定めにより明治四十二年に海老神社に合祀された。その境内は今でも、立派な石積、石段が往時を偲ばせる。

村人は合祀された後も「むらの精



神的支柱」として新年の初参りや秋の奉りを続けている。

その、社(やしる)の屋根が老化し、ペンキでも塗らないと、などと思つている矢先、村人の中村直人は自前で屋根をふき替えてくれた。

「直ちやあ、屋根をありがとうさま」と声を掛けたら、「やれるうちに、やっとかにやあくと思つてノン、これで安気になった」と。心地よい返事が返つてきた。

礼状 ファイル

【既報】十月十八日に校外学習で訪れた市立鳳来中部小五年生全員から、お礼と感謝の手紙(ファイル)を頂いた。



奉納

日本一の高さを誇る鳳来寺山の笠杉は、年末に「しめ縄」を取り替える。そのしめ縄は、毎年四谷の千枚田の糯わらを奉納している

行 令和三年十二月十五日
鞍掛山麓千枚田保存会
文責 小山舜二